



環境カウンセラー活動事例紹介 04

高知県

吉迫 勝意

私の事業者部門での活動を紹介します

出身地：鳥根県

星座・干支：天秤座、辰年生まれ

血液型：A型

好きな言葉：高杉晋作 辞世の句

(下の句は野村望東尼作)

「面白きこともなき世をおもしろく

すみなすものは心なりけり」

2000年以降は、それまでの開発志向から環境保全重視に変容し、今後も微力ながら社会課題解決に取り組みたいと考えています。

【北海道環境カウンセラー協会設立】

私は、環境カウンセラーとして、2000年4月北海道環境カウンセラー協会設立に参加し、事務局担当、副会長、会長（ECU理事通算10年）として協会運営に当たりました。その間、エコアクション21審査員・構築コンサルを通じて事業者の環境保全意識の向上・普及啓発に取り組みました。主な活動は、環境カウンセラー登録間もない2000年6月から苫小牧市環境基本計画作成に市民参加したこと。現在もこのことが環境カウンセラーとしての原点だったと考えています。

【2017年9月22、23日全国EC交流会開催 基調講演者ピアンカ・フルスト氏と打合せ】



【苫小牧市環境基本計画作成、推進会議代表】

苫小牧市環境基本条例に基づく公募による市民組織「環境を考える市民の会」と市の協働により基本計画の作成作業を行いました。活動期間は、2000年6月2日の第1回会議から2002年12月26日の第37回策定本会議でした。会議は、課題毎の委員会、部会、地域懇談会を併せると延べ110回に及びました。完成後は準備期間において、環境基本計画推進会議を新たに設立され、子供たちとのエコクッキング教室開催、市民自然探索会の開催、食品トレーリサイクル工場見学会など2009年3月まで代表として運営に当たりました。

- ・当時は、札幌市、伊達市とともに市民主体による環境基本計画策定として注目されました。
- ・北海道大学の地域システム講座の学生さん4～5人が指導教授とともに会議に5回参加して刺激を与えてくれました。
- ・30人の公募に対して58人の応募者があり選考から漏れた方との交流で、傍聴参加、書面参加もありました。
- ・30人の委員は、高校生、主婦、事業者、僧侶、自然活動家など様々でした。
- ・会議は原則夜間2時間でしたが、交流を深め参加しやすくするため、日曜日の開催、チャリティー飲み会、環境関連映画会、まちあるき探索会など工夫して参加意欲の継続に努めました。環境問題は現在、地球温暖化、気候変動へと変化してきていますが、環境基本計画作成に取り組んだことは多くの市民はもとより新聞社はじめ外部の方々の意見を聞く機会があり、その後の環境カウンセラー活動の基礎作りだったと考えています。

現在、第3次環境基本計画に改訂、推進会議も継続されています。

【北海道中小企業リサイクルアドバイザー】

2006年10月北海道に「循環資源利用促進税」が導入されました。その税収の使途として、産業廃棄物の発生抑制やリサイクルの促進などの施策に使用されるため、導入前からアドバイザーの協力要請が北海道からあり、協会として協力しました。（環境カウンセラー4名）
（広げよう北海道の循環社会の輪）



苫小牧会場、札幌会場でのファシリテーターとして普及に一役果たしました。

その他私が関わった内容は、廃棄物発生抑制・リサイクルについてのセミナー講師、産業廃棄物処理業者の優良認定セミナー講師、廃棄物処分にに関する情報提供や仲介、木材加工会社の木くずの有効利用、省エネ対策について、木材乾燥ボイラーの燃料転換と国内クレジット案件を創出しました。その後毎年2~3件担当して参りましたが2020年3月高知県転居を前に退任しました。

【環境学習、省エネ診断、家庭の省エネ診断】

札幌市、恵庭市などの環境イベントに参加して、新エネルギー、再生可能エネルギーについて体験学習の実践及びセミナーを開催しました。（2017年環境広場さっぽろ）



環境カウンセラー協会には賛同者が少なく、2010年度「内閣府カーボン・カウンセラー養成講座」受講者10人でNPO法人を設立し活動を始めました。私は、その法人の会長を6年、監事を2年務めましたその間の活動です。環境広場さっぽろは毎年7月~8月はじめの3日間開催され3万人以上が参加する大イベントです。

恵庭市環境・エネルギー展も同様な内容で参加してきましたが2016年度は「地球環境基金」を受けて、気象予報士の講演会開催、環境エネルギー展PRチラシを作成（6千枚）して市内の全幼稚園、小・中学校生徒に配布しました。このイベントを端緒に、市庁舎はじめ保健センター、特別支援学級、道の駅小・中学校4校の省エネ対策の相談を受け、省エネ診断を行いました。小・中学校4校については電力計測と詳細な診断を行い、固定分電力使用量の最低化等の運用改善策を提案、機械室管理者への操作上の提案を行い教育委員会から感謝されました。

（2016年恵庭市環境・エネルギー展）



【南国高知県へ転居】

2020年6月、札幌市から高知県に転居しました。高齢化とともに冬期間の雪道、寒さ厳しい中での生活を夫婦ともまだ健康なうちに温暖なところに移住したく考えていました。

（1974年5月千葉県船橋市から北海道に転居していました。）

高知県に特に地縁はありませんが、都市計画関係の仕事で、中国・四国・九州地方には何度も出張の経験があります。四国八十八カ所巡りの修行道場の「遍路道」接遇が根付いた土地柄は長い間印象に残っていました。

【SDGs 推進アドバイザーとしての活動】

高知県では、「第4期高知県産業振興計画 ver.2」の重点ポイントの一つとして、「持続可能な地域社会作りに向け、脱炭素化・SDGsを目指した取組を促進」を掲げ、県内事業者によるSDGsの達成に向けた取組を推進しています。

「企業価値の向上」や「多様な人材確保」、「新たなビジネスチャンスの獲得」など、SDGsに関する取り組みを進める上での提案等を行う専門家を派遣し、SDGsの達成に向けた取組を後押ししています。

2021年12月、事業者から指名を受けアドバイザー活動をしています。地方銀行、損保会社も取引先に対してアドバイスをして取組活動を活発に行っています。

2022年11月現在登録事業者は269社あります。1事業所へ1回3時間乃至4時間で3回アドバイザーとして訪問します。事業者は高知県に派遣要請をし、県からアドバイザーに

「派遣概要書」とともに「派遣決定通知」があります。所定の回数終了し「完了報告書」を提出して、派遣終了となります。現在6事業所目を支援中です。支援先は業界団体、一部上場企業の高知事業所の社員教育、建設業、大手製造業のOEM生産工場といろいろです。

今、地域社会は疲弊しています、取り組む課題はたくさんあります、地域が元気にならないと企業も成り立ちません。地域の課題を自分ごととして、解決する気持ちで取り組んで下さいと、身近な例でアドバイスをしています。一人でも多くの方に伝えることを期待しています。

高知県の制度が北海道の「ゼロカーボンチャレンジャー」登録制度へ繋がったことが大変うれしいことです。

☆北海道グリーンBiz認定制度「優良な取組」部門における「ゼロカーボン・チャレンジャー」登録へ繋がった、「高知県SDGs登録制度・SDGs推進アドバイザー制度」です。

北海道環境カウンセラー協会の2022年4月例会で高知県での活動報告したところ、江本会長・武田副会長が大変関心を持ち、北海道に早速陳情して、北海道ゼロカーボン・チャレンジャー制度発足に際し、北海道環境カウンセラー協会が「温室効果ガスの算定」担当事務局として関与することになりました。積極的な対応の結果ですが大変うれしい出来事です。

【高知職業能力開発短期大学校 電子技術情報科2年生 環境・エネルギー概論 講師】

2022年8月初め、高知県環境活動支援センターを通じて講師要請がありました。

全く予期しないことで、一時は、妻も反対しました。たとえ半年間でも毎週決まって一日は大変です。しかし、Z世代の若者と交流できるという誘惑には負け、熟慮の結果受けることにしました。10月から来年3月までの月曜日、全18回です、1週間がたつのが早く、妻ももう明日短大だねと、毎週決まった日に決まった時間に出かける、リズム感が現在あります。得意とする分野ですが、シラバス作成からはじめて、授業の組み立ては結構大変でした。現在は、WSを2回取り入れ楽しんでいきます。



(WS中の教室)

80歳を超えている意識は棚上げしています！

やがて100歳まで生きるのが普通の社会がやって来ます！いつまでも学び続けるということは健康でいるコツです。新しいことにチャレンジしてみることも心の潤いになります。何かにつけて「ありがとうね」という感謝の言葉も自然に出るようになります。

環境カウンセラーとして登録以来25年になります。この間、北海道環境カウンセラー協会での活動、ECU全国連合会との関わり、環境認証の審査活動、アドバイザー活動など多くの活動の場を頂きました。環境カウンセラーのプラットフォームのお陰と感謝し、関心ある方々には是非「環境カウンセラー登録」をお勧めしたいと思います。